

## 理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

## 基本方針

- ・ 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- ・ 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- ・ 二次医療を中心に担当します。
- ・ 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- ・ 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

## ポリファーマシー予防について

薬剤部 深澤 拓也

## 何種類のお薬を飲んでいますか？

普段まったく病院にかからず、お薬を飲んでおられない方もいらっしゃる反面、日頃からたくさんのお薬を服用されている方もいらっしゃるかと思います。特に、高齢者の方は高血圧や脂質異常症などの複数の慢性的な疾患を長期に渡って治療されている傾向にあり、その場合、必然的にお薬の数が多くなってきます。

## そもそもポリファーマシーとは？

多くのお薬が処方されることによって、有害事象のリスク増加、誤った方法での服用や、服薬アドヒアランス※低下などの問題につながる状態と定義されています。

しかし、注意していただきたいのは、たくさんのお薬を処方されていたとしても、それらのお薬をきちんと管理できていて、お薬の効果が十分に発揮されており、さらに有害事象などもおこっていない場合は、何も問題ありません。

## ※アドヒアランス

患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること  
(日本薬学会より)

## ポリファーマシーを予防するには？

複数の医療機関、診療科を受診すると、それぞれで処方されているお薬が把握されず、必要以上にお薬が増えてしまうことがあります。また、お薬の副作用に気づかれず、その症状を改善するために、さらに新しくお薬が処方されることも問題です。このようなことを防ぐために、日頃からかかりつけの医師や薬剤師を持って、処方されているお薬を把握してもらうことが大切です。

その際にはぜひ「お薬手帳」を活用されることをお勧めします。服用中の薬剤の記録はもちろん、アレルギー症状や副作用を生じたことのある薬剤の記録もされます。お薬の情報を共有するために重要なものです。中には医療機関ごとにお薬手帳を分ける方がおられますが、できれば1冊にまとめて、管理がしやすいようにしていただくのが良いと思います。

ポリファーマシーについて簡単に書かせていただきましたが、いかがでしたでしょうか。お薬のことに関して、わからないこと・不安なことなどありましたら、主治医もしくは、私たち薬剤師にご相談ください。

## 高齢者は副作用が起こりやすい？

高齢になるにつれて、肝臓や腎臓の働きが弱くなり、排泄するのに時間がかかるようになります。その他にも様々な生体の変化が、薬の影響を強くさせる可能性があります。しかし、副作用が出たからと言って薬を自己判断でやめたり減らしたりすることは、病状の悪化につながる可能性があります。そのため、処方されている薬を中断することはせず、必ずかかりつけ医に相談するようにしましょう。

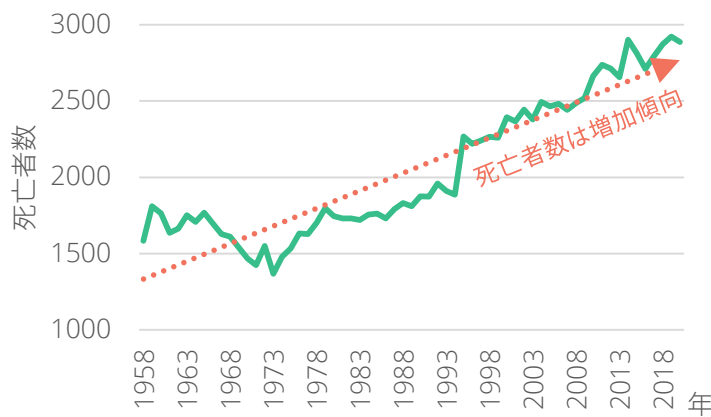
# 子宮頸がん と HPV ワクチン

## 子宮頸がんについて

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。1年間に約11,000人が発症し、約2,900人が死亡しています。

子宮頸がんのほとんどは、HPV(ヒトパピローマウイルス)というウイルスに感染することで発症することが分かっています。HPVは一般的なウイルスで、性交渉の経験がある女性の約80%が一度は感染しますが、感染しただけでは自覚症状はなく、ほとんどが自然に排除されます。しかし、感染が長く続くとがんになる可能性があります。また、HPVは機会があれば何度でも感染するため、HPVワクチン接種による感染予防が有効です。

子宮頸がん死亡者数



国立がん研究センター がん情報サービス より

## HPVワクチンについて

HPVは100種類以上あり、その中で子宮頸がんを引き起こしやすいものが数種類あります。HPVワクチンを接種することによって、子宮頸がんの原因となるウイルスの感染を50～70%を防ぐことができます。特に、HPVに感染する前の10代前半に接種すると、より高い効果が期待できると言われています。

そこで、国は2013年4月に「小学6年生から高校1年生相当の女子」を対象に、HPVワクチンの定期接種を開始しました。また、HPVワクチン接種をお勧めする取り組みが差し控えられていた期間に接種されなかった方(1997年4月2日～2006年4月1日生まれの女性)も、「キャッチアップ接種」として、公費で受けられる対象となっています。

鳥取市の場合、対象者に接種券を発行しており、その接種券を利用することで無料でHPVワクチンを接種することができます。公費接種の対象となっていない方でも接種することは可能ですが、自費となるため、1回あたり1万5千円～4万円程度の費用がかかります(ワクチンの種類、医療機関によって費用が異なります)。

接種回数は期間を開けて3回行います。3回接種することで十分な効果を得られるため、3回まできちんと接種する必要があります。

20歳になったら  
子宮がん検診を！

20歳になったら、2年に1回は子宮がん検診を受けましょう！  
HPVワクチンで予防しきれなかった病変を早期発見するため、  
子宮がん検診を定期的に受けることが重要です。

鳥取市のHPVワクチン関連情報はコチラ

「子宮頸がん予防(HPV)  
ワクチン接種について」



出典 厚生労働省「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン～」  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/index.html>  
 鳥取市「子宮頸がん予防(HPV)ワクチン接種について」  
<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1371171979182/index.html>  
 国立がん研究センター がん情報サービス「子宮頸がん 患者数(がん統計)」  
[https://ganjoho.jp/public/cancer/cervix\\_uteri/patients.html](https://ganjoho.jp/public/cancer/cervix_uteri/patients.html)

約300の「楽しみ」  
ありがとうございました！



七夕イベント



# 願いが叶うといいな！笹ツリー

～ コロナ終息後の楽しみ&続ける感染予防 ～

令和4年6月27日～7月22日に、エントランスホールおよび各病棟において、新型コロナウイルスが一日でも早く終息し、みなさんの願いが叶うといいな！という想いを込めて、七夕イベントを行いました。

今回は本物の笹が準備できなかったのですが、代わりに笹のイラストを印刷した台紙を準備し、来院または入院されている患者さんやご家族、そして職員も一緒に、コロナ終息後に「楽しみにしていること」、「やりたいこと」などの願いと、終息後も自身や周りの人を守るために「続ける感染予防」を書いて、台紙に短冊を貼っていただきました。

笹イラストの台紙は多くの短冊できれいに飾られました。「温泉に行きたい」などの旅行系が多くみられ、その次は「みんなと食事したい」などの食事・飲み会系。中には、「マスクなしで笑顔を見たい」という楽しみもありました。自粛生活で旅行や飲み会が制限されてきましたが、早くコロナを気にしなくてもよい生活に戻り、短冊に書かれたような願いが実現することを願います。



## 鳥取市健康づくり講演会で 相見診療部長が講演します

参加費  
お申し込み  
不要

先着  
60名

令和4年9月3日(土)に鳥取市が開催する健康づくり講演会で、当院内科の相見診療部長が「やさしい内視鏡(仮)」というテーマで講演いたします。

会場に関して、お申し込み、参加費は不要ですが、先着60名とさせていただきます。また、この講演は後日、CATVいなばぴよんぴよんネットで放送予定です。

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定が変更となる場合がございます。

日時 令和4年 9月3日 土  
10:00～12:00

場所 さざんか会館5階 大会議室  
さざんか会館駐車場および鳥取市役所駅南庁舎  
駐車場をご利用ください。

講演 やさしい内視鏡(仮)  
まさひと  
鳥取市立病院 内科 相見 正史